

今週のビルマのニュース 2008年8月1日【0823号】

今週の主なニュース：国連からの援助金の20%が目減りか

・ASEANと国連は6月にサイクロン被災地域で行った合同調査報告を発表し、復興のために今後3年間に約10億ドルの資金が必要だとした（報告34頁）。しかしビルマに入る救援活動資金の20%以上が為替レートの関係で目減りしている問題（下記参照）が大きく取り上げられている。国連も資金が失われている事実を認めており、ホームズ事務次官（人道問題担当）は「非常に深刻な問題」と述べた（28日付フィナンシャル・タイムズほか）。

背景：国内で活動する国際団体は活動費用を国営ミャンマー外国貿易銀行に預金し、引き出す際にはFEC（外貨兌換券）を使用しなければならない。FECは米ドルと同価値のはずだが、サイクロン後、急増する需要に対応するため軍政がFECを大量増刷した。このため現在はFECの価値が米ドルより約20%低く、外貨に20%の課税をしているも同然で、軍政の収入となっているという。

その他：米国が新たに制裁、ほか

・米国で、宝石取引業者と宝石小売業者に対しビルマ産ルビーとヒスイの輸入を禁止する法律が制定された。ビルマでは宝石が原油・天然ガスと農産品に次ぐ第3の輸出品で、宝石の中でもルビーとヒスイがもっとも売り上げが多い。米国は2003年からビルマ産製品の輸入を禁止しているが、今回の新法は第三国で加工されたルビーとヒスイの輸入も禁止する。

・ブッシュ米大統領は、まもなく訪問するタイでビルマ人民主化活動家らと会合することを検討中。

・英国ビルマキャンペーンは29日、多数の保険会社がビルマ軍政を財政的に支えてきた実態をまとめた報告書を出し、それらの保険会社に対しビルマ関連の事業からの撤退を呼びかけた。ビルマで営業する企業に保険を売ったことのある会社として、日本の東京海上日動火災、損保ジャパン、三井住友海上火災の名前も挙がっている。

・ビルマ国内で活動する全ビルマ僧侶連盟や88世代学生グループは31日に声明を発表し、5月に行なわれた国民投票の結果を正当なものとして認めないこと、軍政の民主化計画が有意義ではないことを宣言することなどを国連に求めた。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

今週の発表はなし

イベントなど

8月8日は1988年8月8日に起きた民主化運動弾圧の20周年記念日。日本を含む世界各国で「忘れない、あきらめない」キャンペーンが展開される。

・88.8.8.追悼デモ行進 ビルマ民主化同盟名古屋・NLD-LA 名古屋支部・ビルマ民主化支援会（名古屋市栄公園、3日15時半～）

・国境なき医師団 サイクロン被災地での緊急援助活動報告会（医師団事務局、4日19時～）要申込

・ユニセフ（国連児童基金）ミャンマー現地報告会～日本人保健・栄養チーフ、90日間の活動報告（ユニセフハウス1F、7日14時～）要申込

・映像でメコンを渉る 第2回「ビルマ、軍政と人々」短編作品数編を上映。来日中の著名女性活動家キン・オーンマー氏、秋元由紀氏が解説（メコン・ウォッチ事務所、7日18時半～）要申込

・8888 ビルマ民主化運動記念デモ行進 在日ビルマ人共同行動実行委員会（五反田南公園集合、8日13時半～）

・第12回ビルマ市民フォーラム総会『もうひとつの「8・8」を忘れるな！サイクロン被災から3ヶ月—国民投票後のビルマ』根本敬、キン・オーンマー、秋元由紀の各氏が講演（池袋ECOとしま8F、9日18時～）

・ビルマ・ロヒンギャ難民（複数）難民不認定取消訴訟（福岡地裁302号法廷、19日13時15分～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165